

ARCHITECTURAL INSTITUTE OF JAPAN

ARCHITECTURAL INSTITUTE OF JAPAN
日本建築学会 〒108-8415 東京都港区芝5-26-20 | Tel: 03-3456-2051 | Fax: 03-3456-2058



ENTER

入会するには
↓
インターネットから入会手続きができます。

<http://www.aij.or.jp/jpn/admission.htm>

WHAT IS AIJ?

1

原点に戻り、より良い建築を

建築は衣食住の一つであり、人々の晴れ舞台をつくります。家を建てること、企業が社屋を新築すること、町に新しい劇場ができること、人々の記念すべき時となります。建築はまちをつくり、歴史と風土のなかで育われます。伝統建築、大都会の摩天楼、風土に根ざした住宅、世界の異なる文化と空間は、知恵と心の豊かさを与えてくれます。

建築は命と財産を守る重要な使命を持っています。人間は小さく柔らかく、建築は大きく硬いものです。建築は災害時に倒壊してはならず、台風や地震で被害を受けても、社会・経済活動が短期間で復元できるように、建築・都市をつくらねばなりません。

このように、「建築の仕事」は、晴れやかで、豊かな心と文化を育むとともに、重大な責務を負っています。建築の仕事は、先人の知恵と工夫と経験の積み上げの上に成り立っています。人は生まれてゼロから出発し、教育を受けて、先人の知恵を獲得し働いていきます。日本建築学会は、いうまでもなく建築に関わる知識と技術の膨大な集積の場です。今を生きる我々全員は、この場で活躍するだけでなく、さらなる研鑽を積み、次の時代のために新たな知と技を積み重ねていく必要があります。

「建築の仕事」の原点に戻り、社会と人々にとってより良い建築を丁寧に実現する学会をめざします。

若い皆様が日本建築学会の会員になって、先輩達を刺激し、次の時代に続く素晴らしい建築を作っていってほしいと思います。

第52代日本建築学会会長 / 東京工業大学名誉教授 和田章

応援します！
あなたのキャリアデザイン



日本建築学会新会員証見本

2

良質な知識や情報を得たい

本会は、約130年にわたって蓄積してきた貴重な学術・技術の情報をふまえて、毎年150を超える講習会、シンポジウムなどの実施、あるいは毎年20点程の規準・仕様書等の出版物をとおして、建築学を構成する各専門分野の最新情報を提供しています。講習会やシンポジウムではそのテーマに関するテキストや資料集が発行されます。テキスト、資料集には参考文献が紹介しており、より深い知識や周辺の情報へアクセスできるように配慮されています。さらに図書館には、国内外の建築に関わる約20万冊の蔵書があり、会員は利用することができます。

このように本会は情報の宝庫となっており、ホームページをとおして会員限定の情報を提供しています。また、毎月発行の「建築雑誌」では、建築周辺を含む幅広い特集記事を掲載して、知的好奇心を刺激するような情報を提供しています。

- | | |
|--------------------|------------------|
| [2011年「建築雑誌」特集例] | ・シミュレーション・デザイン |
| ・未来のスラム | ・建築年報2011 |
| ・建築論争の所在 | — 木 / 東日本大震災 |
| ・アジアアトラス | ・検証：東日本大震災と建築学会 |
| ・日本のデザイン×ビルド | ・国・土のデザインI |
| ・建築学会の国際化 ゼロ・サーヴェイ | — アーカイブとしての東北 |
| ・建築の境界 | ・国・土のデザインII |
| ・Re-edit 環境学カタログ | — 不安定な大地とどうつながるか |

日本建築学会がみなさんを応援します。
たとえば、こんなとき……

3

成果を発表したい

新しい発見や良い仕事をしたら、本会のさまざまな発表の場を活用してください。研究成果なら支部研究発表会・大会学術講演会・論文集、新しい技術を開発したら技術報告集、よい作品をつくったら大会建築デザイン発表会や作品選集に発表することができます。そのほか英文論文集という手段もあります。いずれも公開データベースに登録され、万人の知的共有財産となり建築の発展に寄与できます。



「建築雑誌」2012年1月号表紙

4

設計や技術を競いたい

設計の論理性、社会性に重きをおいた課題による設計競技を、毎年、意匠系と技術系でそれぞれ実施しています。自分がどれほどの設計技量を持っているか、全国レベルで比較できる良い機会です。意匠系の設計競技は歴史も古く、多くの著名な建築家がこの設計競技の入選者として名を連ねています。技術系の設計競技では第一線の技術者・建築家がアイデアを競っています。



「日本建築学会賞」賞碑

5

高い評価を得たい

自信のある業績を達成したときは、学会賞(論文、作品、技術、業績の各部門)、教育賞、奨励賞(論文)、作品選奨の各賞に応募することができます。また、学生には優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞の顕彰事業があります。厳しい審査を経て優れた業績と認められれば、たいへんな誇りと名誉が得られます。



日本建築学会論文集

6

社会に貢献したい

キャリアを積んだ会員は、司法支援、まちづくり支援、住まいづくり支援の各建築会議をとおして、自らの経験・知識・技術を直接社会に生かすことができます。

司法支援 建築会議	まちづくり支援 建築会議	住まいづくり支援 建築会議
裁判所に対して調停委員や鑑定人を推薦しています。	自治体等の要請に応じ、設計者選定委員会、審査委員などを紹介・推薦しています。	建築主・購入者の住まいづくりに関する相談をおこなっています。

学校卒業	20歳代	若手	1級建築士等
↑	30歳代		
	実務期間	40歳代	中堅
↓	50歳代		レベルアップ(研修、自己研鑽、資格等)
		60歳代 -	ハイシニア
社会貢献			地域ボランティア等

日本建築学会技術報告集



日本建築学会作品選集

インタビュー

私のキャリアデザイン

豊貞佳奈子さん

[株式会社TOTO]



節水型住宅設備機器の環境影響評価の研究に取り組み、海外の学会でも発表を行う豊貞佳奈子さんの職歴は多彩だ。入社当初から「環境に関わる仕事をした」と考えていたものの、最初に専任職として就いたのはショールームでのシステムキッチンのアドバイザーだったという。そこから一級建築士取得を経て総合職へ、さらに休日を返上して取り組んだ研究が身を結び、博士号取得、出産を経て研究職へと繋がっていった豊貞さんのキャリアデザインのプロセスとは。

聞き手=藤村龍至 [東洋大学・藤村龍至建築設計事務所]



大学で給排水衛生設備を専攻されたことがいましたが、何かきっかけはありましたか。

豊貞 | 専攻分野を選ぶ時に、環境をやりたいかったので、環境・設備系の研究室を選びました。そのときの先生の専門が水でした。

就職にはどのように繋がったのでしょうか。

豊貞 | 「専任職」という区分で採用していただきました。当時は総合職と一般職の間に専任職、エリア総合職という区分がありました。総合職は配属はどこになるかわからないですし、仕事の内容も高度なものでした。一般職は事務職です。専任職はある程度の専門知識を持っているけれど、転勤はないので女性が多かったです。私の先輩の時代に総合職で採用された時もあったのですが、なかなか定着しないこともあり、私の時代は多くが一般職、もしくは専任職の採用でした。

最初はどのような仕事に就きましたか。

豊貞 | キッチンアドバイザーと言って、ショールームで、システムキッチンのコーディネートをする仕事です。トイレの場合は商品を決めて、色を決めて、となりますが、キッチンは建築の図面を見て配置していかないといけないので、ある程度の知識が必要ということで専任職が担当していました。

キッチンアドバイザーからどのようにキャリアを移られたのでしょうか。

豊貞 | 入社四年目に一級建築士をとりました。当時は総合職に昇格するための要件の一つでした。その時にいろいろ声を掛けていただけで、同じキッチン事業部の本部から声をかけていただき、キッチンアドバイザーやショールームアドバイザーの指導担当になりました。

一級建築士を受験したのは、総合職への昇格が動機ですか。

豊貞 | そうですね。もともとが環境に関する専門的な仕事がしたいと思っていたので、2年後に生ゴミを処理して下水に流す「ディスポージャー」を担当する部門に移りました。

ディスポージャーに興味をもたれたのはなぜでしょう。

豊貞 | 大学4年生の時に、ディスポージャーは面白いと思っていたんですね。ただその時は指導教官の研究テーマに入っていなかったのが、別のテーマを選びました。その後、TOTOが新規事業でディスポージャーに参入することになり、興味をもちました。

どのような建物に導入されていたのですか。

豊貞 | 集合住宅ですね。タワー物件が多かったです。商業ビルでは生ごみ専用のルートがあったりするのですが、集合住宅では生ごみをエレベーターで上層階から下に持ってくるのは難しいので、かなりの採用率でした。

その後、研究を始められたのですか。

豊貞 | そうですね。ディスポージャーの技術営業をやっていた時に、いろんなマンションデベロッパーや設計事務所や入居者の方から「これは環境に悪いんじゃないの」という問い合わせが入ってきたので、ディスポージャーを導入すると全体の環境負

2011年11月28日 TOTO本社にて

豊貞佳奈子 | Kanako Toyosada
1994年日本女子大学住居学科卒業。TOTO入社。
1994年九州支社配属、キッチン事業部九州SKセンターにてキッチンアドバイザー。
1999年、一級建築士取得を機に同事業部SK販売企画部(彦原工場)にてアドバイザー指導担当。
2001年より東京支社ディスポージャー商品部に技術営業担当。業務時間外に自己啓発として研究を開始し、博士号を取得。
2008-09年育児休暇、2009年環境経営企画室(茅ヶ崎工場)を経て、2011年よりESG推進部環境商品推進G。節水技術の環境影響評価に関する研究を行う。

建築文化週間・学生ワークショップ参加者座談会

ワークショップで得たつながりから20代の仕事へ

祖父江一宏さん | 辻琢磨さん | 萬玉直子さん | 針貝傑史さん

[2007年代表]

[2008年代表]

[2008年委員]

[2010年代表]

毎年10月に日本建築学会の本部、各支部によって開催される「建築文化週間」では、ワークショップやトークイベント、建築見学会など毎年多彩なイベントが企画される。なかでも本部主催の学生ワークショップは、東京近郊の大学生が集まりひとつのイベントを立ち上げていく試みで、毎年独自のワークショップやコンペ、建築家のレクチャーやシンポジウムなどを学生たち自身の手で企画し、多くの参加者を集めてきた。ここでは、学生時代に学生ワークショップの実行委員を務め、現在は設計事務所やアトリエ、メディアなどの現場で働く20代の社会人の皆さんに集まってもらい、それぞれのワークショップを振り返ってもらうこととした。

聞き手=藤村龍至 [東洋大学・藤村龍至建築設計事務所]

建築家よりも同世代の意見に興味があった

皆さんが参加された時の様子を教えてください。

祖父江 | 他大学の人たちの知り合いを増やしたいと思って参加しました。僕らの時は企画5割・雑談5割という感じで、他大の学生との交流が最大の目的という感じでした。大学の研究室の単位を超えて、建築会館が「みんなの研究室」という認識がありました。

辻 | 学生なりに面白いと思っていることを企画に反映させたいと思っているけれども、ゲストとの交渉、広報など、どうやってまとめるんだとか、わからないことだらけだし、大学院の課題などやることいろいろあるなかでワークショップ当日まで週1で集まるのがひと苦労でした。

針貝 | 意匠系の学生が少なく、構造系とか歴史系の学生が多かったです。ふだんしゃべらない人の動きを見ているのが楽しかったです。僕たちが何かをするというよりは、同世代の人たちが何をしたいかを知ろうとする「プラットフォーム」を作ろうとするという姿勢がありました。

萬玉 | 私たちも建築家よりも同世代の学生に興味がありました。コンペ企画をしようとなって、今までにないコンペにしたいねとなって、応募案を審査員の方たちに講評して頂くとともに学生団体の人たちも意見を述べたり、卒業設計をやっていない人も含めて審査に加わることを考えました。先生の意見よりも自分たちの感覚としてどういう意見が出るかに興味がありました。

コミュニティの集合をつくる

ワークショップというと集客に苦労したと思いますが、何か戦略はありましたか。

祖父江 | 手分けをして、各大学に広告を貼りまくりました。例年、深夜になると参加者の学生が帰って行ってしまうので、残ってもらうように策を練りました。ネットを使った仕掛けは、インターネットラジオの試みはありましたが、僕らの時はせいぜいmixiで告知したくらいです。

辻 | 僕たちの戦略はワークショップ全体をmixiのようにコミュニティの集合にするというもので、まず共通の関心を持つ者同士で集団を立ち上げて、ブログなども使って積極的に活動の様子を発信していきま

した。当時、東工大の「g86」など学生団体ブームがあったので、学生団体を作っている人たち40人くらいに呼びかけて、委員が約30人ほどいたので、「コミュニティ」をつくり、盛り上がるように仕掛けを考えました。

萬玉 | コンペは応募が少なかったですね。他のコンペが多い時期だったということもあって、やっぱり集まらなかった。企画内容が伝わらなかったのかも知れません。

針貝 | 自分たちの時は、集客に関して問題がありました。紙媒体ではあまり告知できていなかったこともあるかも知れませんが、twitterやUSTREAMを使ってネット上で告知したり、中継したりしましたが、レクチャーにも人が集まらず、苦労しました。

祖父江 | 参加しやすい状況になっているのに、メディアが阻害しているという印象があります。当日になって来ない学生も多い。集まることよさを再確認してほしいと思いますね。

自分たちで場所をつくるほうがいい

企画側を経験すると、イベントのあり方についていろいろ考えさせられますね。

辻 | 僕たちはあくまでコンテンツで勝負するものだと考えています。その動きをメディアでどどんぱブリッキングしていく。ちょうど僕らの頃にwebとSNSが出て来ました。100人くらいなら、既存のメディアの協力が得られなくても自分たちで集められると

思います。マスメディアに打つよりは地域に直接訴えて、自分たちで場所をつくるほうがいい。

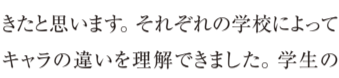
萬玉 | 学生にとって情報過多になっている側面はありますね。イベントにしても集客が難しい。



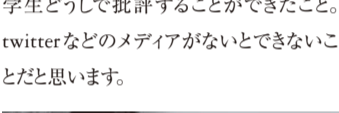
辻 | だったらイベントのあり方を変えればいい。人を集めるときに、スケールに応じた情報の質について考えています。1人が100人に呼びかけるという状況と、1人が10人に呼びかける状況では発信する情報の質が違ってくると思うので。

萬玉 | 同世代の学生どうしのつながりはできたと思います。それぞれの学校によってキャラの違いを理解できました。学生の団体にも協力してもらったのでさらに広がりました。

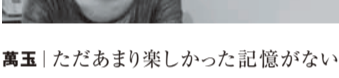
針貝 | 面白かったのは離れたところにいる学生どうして批評することができたこと。twitterなどのメディアがないとできないことだと思います。



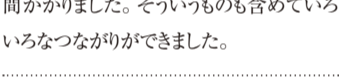
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



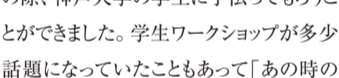
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



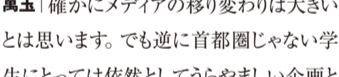
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



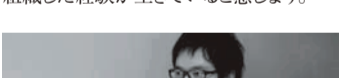
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



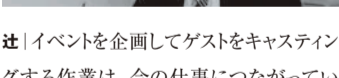
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



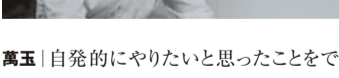
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



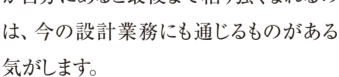
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



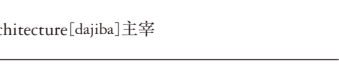
萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。



萬玉 | ただあまり楽しかった記憶がない(笑)。みんなすくなく議論をしたがるし、理屈っぽい。女子大にはいないタイプばかりだったのでコミュニケーション取るのに時間かかりました。そういうものも含めていろいろつながりができました。

2012年度
新規会員
募集中!

[日本建築学会とは]

日本建築学会は、会員相互の協力によって、建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達をはかることを目的とする公益法人です。1886年(明治19年)に創立されて以来今日にいたるまで、わが国建築界においてつねに主導的な役割をはたしてきました。

現在、会員は3万5千名余にのぼり、会員の所属は研究教育機関、総合建設業・設計事務所をはじめ、官公庁・公社公団・建築材料・機器メーカー・コンサルタント・学生など多岐にわたっています。本会は、その目的を達成するため、調査研究の振興、情報の発信と収集、教育と建築文化の振興・業績の表彰・国際交流・提言・要望などの事業を幅広く実施しています。また、全国に9つの支部と36の支所を設けて、それぞれの地域に即した活動を展開しています。

contents

INTERVIEW | インタビュー

私のキャリアデザイン

豊貞佳奈子 | 株式会社TOTO

DISCUSSION | 座談会

ワークショップで得られたつながりから20代の仕事へ

[建築文化週間・学生ワークショップ参加者]

祖父江一宏 | 2007年度代表

辻琢磨 | 2008年度代表

萬玉直子 | 2008年度委員

針貝傑史 | 2010年度代表

発行日:

2012年2月10日

発行所:

日本建築学会

編集:

会員委員会 入会パンフレット作成WG

藤村龍至(注五)

松永直美

山中新太郎

小池健

刈谷悠三

郷田桃代

デザイン:

刈谷悠三+西村祐一/ neucitora

印刷製本:

昭和情報プロセス

Printed in Japan

©Architectural Institute of Japan



日本建築学会

[会員・情報グループ]

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

Tel: 03-3456-2055 | Fax: 03-3456-2058

kain@aij.or.jp

